学校番号	１０１２

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	保育基礎（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○折り紙、手遊び、読み聞かせ等を通じて子どもの発達の理解を深めましょう。
○実践的な学びの場として保育所実習を予定しています。

2　学習の到達目標

・乳幼児、学童の発達と心の特徴を理解し、初期発達の重要性を知る
・保育所実習を通じて幼児との関わりを思考しながら直接触れあい、幼児教育の現場を体験する
・幼児期の重要性に関心をもち、主体的に授業、実習に臨むことができるようになる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。 保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身に付けている。	子どもの発達をふまえ，現状について見直し，課題を見つけ，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身に付けている。	子どもについての関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1学期	・人間としての発達・乳幼児の発育	○人間の発達の中の乳幼児期 ○発達観の変遷 ○児童観の変遷 ○乳幼児の発育の特徴 ○絵本の読み聞かせ ○作品制作	a: 子どもの発達を支える技術を身に付け、作品製作や沐浴させることができる。子どもの発達や発育に関する正しい知識を身に付け、理解を深めることができた。 b:作品に創意工夫があり、子どもの発達に応じた児童文化財や遊びを考えることができる。 c:発達観や児童観の変遷に関心を持ち前向きに取り組めている。	小テスト 作品 課題	小テスト 授業プリント レポート 課題	授業プリント レポート 課題
2学期	・乳幼児の精神発達・乳幼児の生活	○乳幼児期の発達の特徴 ○乳幼児期の精神発達 ○対人関係の発達 ○心の健康と精神保健 ○子どもの養護 ○子どもの食生活と衣生活 ＊離乳食の試食・試作 ＊保育所での講話と見学 ○子どもの遊び ○生活習慣としつけ ○子どもの健康管理 ○子どもの事故と安全 ○絵本の読み聞かせ ○作品制作 ＊保育所実習 ＊実習：伝承遊び	a: 子どもとの適切な関わり方や発達を支える技術を身に付けている。 子どもの発育や発達についての正しい知識を身に付け、理解を深めることができた。 b:発達に応じた離乳食の与え方を考え、レポートにまとめることができる。 c:子どもの発達や発育に関心を持ち前向きに取り組めている。	小テスト 作品 課題	小テスト 授業プリント レポート 課題	授業プリント レポート 課題
3学期	・乳幼児の保育・乳幼児の福祉	○保育の意義 ○保育の目標と大人のかかわり ○絵本の読み聞かせ ○作品制作 ○家庭保育と集団保育 ＊交流内容の計画・実施 ＊保育所実習	a:自らたてた交流計画をもとに園児と交流することができた。 乳幼児・児童の発達について理解を深めることができた。 b:保育について必要な要素を踏まえ交流計画をたてることができた。 c:保育の意義について関心をもち、意欲的に学ぶことができた。	小テスト 作品 課題	小テスト 授業プリント レポート 課題	授業プリント レポート 課題

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度